

恋まつつま恋

✿ A p B a n k つま恋野外フェス参戦記 ✿

7/16(sat)
7/17(sun)
7/18(mon)



開場 11:00 開演 16:00 終演 20:00
つま恋/多目的広場(ライブステージエリア)
スポーツ広場(オーガニックフードエリア)

apbankフェス'05は自然発生的なエコ意識の連鎖、共振をイメージした
「eco—reso」という造語をメッセージに掲げ、
apbankの思いに共感してくれるアーティストとともに行われた
apbank主催の初の野外イベントです。

「ねえねえ、apbankが夏につま恋で野外フェスやるんだって」「そんなあつつい頃に掛川になんていけないよ、倒れちゃうからあ」「そうだよなー、トシ考えなきや・・・日焼けもやだし、暑いのもやだし、人込みもやだもんね」「そうだよそうだよ」なんて会話があったのが今年の4月ころ。なんとなくあきらめもつきかけたある日の深夜、ネットで情報が流れた。「野外フェスの三日目のゲストは浜田省吾!」「浜田省吾おー!!」T I C Aさんが立ち上がった。そしてあくる朝のニュースキャスターは言う。「三日間12時間6万人動員のこのライブは新しいつま恋伝説の始まり、桜井伝説と呼ばれるようになるだろう」。ええー! 行きたあーい!!! 行きたああーい!!!
チケットはすでにソールドアウト、オークションは多彩なゲスト発表と同時に高値となっている様子。「浜田省吾に会いたい (T I C A)」「伝説に立ち会いたい (C a c c o)」

あときは、神様っているんじゃないかと思いました・・・チケットが空から降ってきたんです!(チル仲間が譲ってくれたんですけどね)
そのチケットは浜田さんがゲストの18日最終日。
しかもAブロック。神様っているんだよ。
これからもいい子にやっっていくからと約束。



↑
新横浜をいよいよしゃっぽつ。
わっまーい新幹線だま!

←掛川駅でシャトルバスを待つ。
みい〜んなつま恋へ行きます!
二枚の写真にはT I C Aさんが隠れています。探してね!

新幹線の中で隣り合わせた女の子はミスチルファン。野外フェスには昨日今日二日間参加。昨日は仕事があったから東京に戻り再び新幹線をつま恋入りだっ。むむ、負けたかも・・・TICAさんお手製のおにぎりを食べたりぺちやくちゃしてたらあっという間に掛川に着く。こんなふうにTICAさんとライブに行く日がくるなんて思ってなかった。紳さまと浜田さんと桜井くんがわたしたちにつま恋に行きなさい、つま恋においでよってってるんだ。

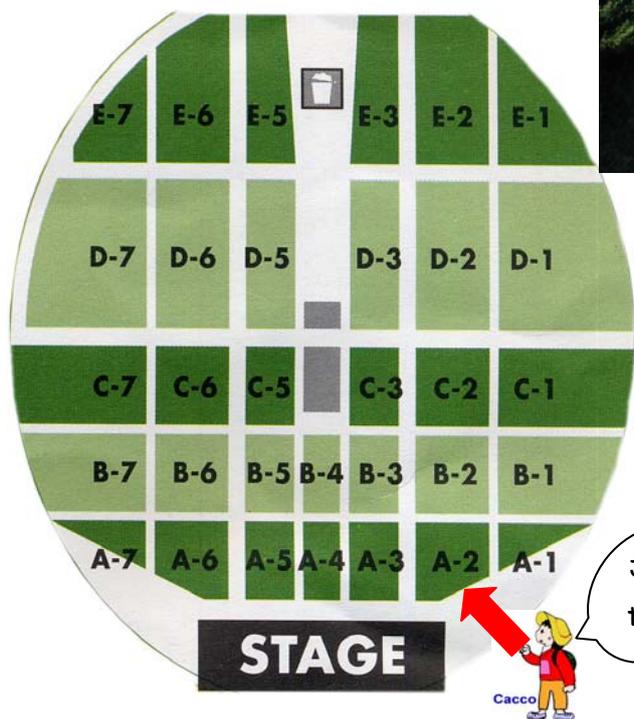
あっついあっつい汗汗汗

体が焼けるみたいだよ！

そんな中をバスを降りて20分くらいテクテクと歩く。黒の日傘に浜田さん黒T、浜田さんビニルバッグのTICAさん。日差しをさえぎるものはなにもない！！



←フェスの看板前に立つCacco隊員。



フェス入り口に到着。いよいよ着いたぞ。

ここからはカメラはなしよ。

バッグにしまっ、

さあて、わたしたちのブロックへ行こう！！



は〜い、ここからは浜省レポート担当の者です。

7月18日 日曜日。

天気は、憂鬱になるくらいの快晴！

天から降ってきたチケットを握り締め

CACCOとお揃いのブレスをして気合を入れる。



急いで買い揃えたSHOGO、KAZブレス。白い丸いのがホワイトブレス。



下手にいいブロックだったので、fes開始の30分も前から立ち位置を決められちゃってこの先4時間半も立ちっぱなしかいと暗澹たる思いが。。

えい、座っちまえと一人しゃがみこむ。20代中心のミスチルファンにはかないませんぜ。

4時ぴったりにざわざわ、きゃーきゃーする声が頭上から降って来たので、

さてとどっこいしょと立ち上がり、**おお、本物桜井だま！**

桜井くん、満面の笑み。これじゃこの人病気にもなる。。

5人(組)の関係のない人たちの歌を聴いて、どきどきわくわく、いよいよヨ！！

今から紹介する方は、僕が中学生の頃から憧れている人で
人間的にもあったかい人なんで
そういうオトナになりたいと思ってるわけです



桜井くんの浜省紹介の言葉に、桜井、お前はオトナじゃないのか、と心で突っ込んでると出てきた〜っ！
このコーフン状態は、いつもの浜省のライブとはまるで異質なもの。
そんな私の波打つ心とは反対に、客席は静か…。
ステージに登場して、まずは桜井くんとハグハグ。
あれれ？まだ静か…。
こりゃ、浜省のためにだけここに来ている人間の存在を伝えなくちゃいけないと使命感に燃え、叫んだ。

『しょおごおおおお〜』

その声に勇気付けられたように、曲が始まった
(いいの、ファンなんてこんなもの)。
b a n k b a n dがCDに収録した『マイホームタウン』を桜井くんが引き継いで歌い、
ちゃんと桜井節にしていた。
浜省は、お得意のMCで笑わせてくれることもなく、あくまでも主役は桜井くんだといわんばかりの後ろにひいた姿勢。



次に、新しいアルバムからは歌わないはずとの
浜省友達の予想を見事に裏切って『Thank you』。
この曲は喋りが入るのでミスチルファンはひくかなと
思ったけど、案外気に入ってくれたようで
前の女の子たちは「カッコー！」って。
そーだろそーだろ。浜田だ！
3曲目は『家路』。この曲はきっと桜井くんのリクエスト。
そして、桜井くんと握手を交わし、スタスタとステージ
を去る。え？え？さ、3曲？
帰る足を止めるためにまた声を限りに叫ぶ。

『しょおおごおおおお〜お』

・・・・・・・・・・行ってしまった・・・・・・・・・・。

浜省がいなくなったステージで桜井くん「…もう、なんも言うことないねっ」と本物の笑顔。それから3日目のこの日だけの選曲の『HERO』を歌いですが、なんと途中で泣きだして歌えなくなりました！（新聞記事だと【号泣】）

表現者としてこれだけはやめようと思っていることは？という質問に<泣くこと>と答えた桜井くんが泣いた。

懂れていた人との共演がよっぽど嬉しかったのね。

なんかとってもよかったよ、桜井くん。。

そんな穏やかな気持ちでいた私に、アヤシイ格好※をしていたCACCOが

「あたしの代わりに桜井くう〜んって叫んで」って。。

そりゃないぜ…。まあ嬉しかったけどさ。

（浜省ファンの間で流行ってるフレーズを無理無理に使ってみました）

※ アヤシイ格好⇒帽子を深くかぶって阪神タイガースのタオルを覆面レスラーのように顔に巻きつけてたんだ、この人は…！！🧢

チケットを譲ってくれた福ちゃん、ありがとう。

3曲（予想してた）のためにつま恋にいくらかけて行くんだろうとグチをこぼしたら

「省吾の歌はプライスレスよ」と言ってくれた由佳ちゃん、ありがとう。

ミスチルと浜省が同じステージに立つなんて奇跡的な場面を

CACCOと一緒に見ることが出来てほんとによかった。



ばいばい、つま恋。

新しい伝説に立ち会えて楽しかったよ。

それでは、秋のツアーのチケットも降ってくる事を祈って、マイクをお返しします。

ミスチルサイドのCACCOさ〜ん！

は〜い、
ミスチルサイドの
黄色い闘魂・タイガーマスクC a c c oで〜す！
怪しいかっこで恐縮です。



なにしろ四時間桜井くん出ずっぱりというライブ。
トイレに行く暇なんてないわけよ。こちらにだって覚悟がいる。
桜井くん登場の瞬間から驚いた！髪の毛超短いじゃん！
あ〜ロングが好きなのに短く切っておしまいになったのね！
でも外見が好きじゃなくもないの。歌が好きなの。歌が好きなんだけど顔も好きなの。
歌と風貌と生き方がぴったりってところが好きなの！
あ〜困ったと煩悶してるうちに一曲目が始まる。
KAN君の「プロポーズ」のカバー。なんだかよく聴いてなかったけどフェスによるこそって歌だった？
桜井くんは司会進行も勤めるホスト役。MC嫌いのかれが慣れないこととして、暑い最中三日間も体だいじょぶ？と心配したけど、とにかく最終日の幕は上がった。桜井くんは元気そうじゃん。TICAさんもあたしも元気。ほんとによかった。



一青窈、s a l y u、スキマスイッチと進行し、スキマスイッチはミスチルの曲「虹の彼方へ」を演奏。ゲストが続くとミスチルの歌に飢えちゃうから、なんかグッドタイミング。やっぱ盛り上がるよね～。

続いてChara、GAKU-MC。GAKU-MCは「昨日のNo、明日のYes」。観客に練習させて、さあみなさん一緒につて。昨日の「No！」明日の「Yes！」と盛り上がる。桜井くんは走る走る！もうステージサイドぎりぎりまできてくれる！こんなことならステージ寄りに陣取らず、どんなに端っこでも前に行けばよかったか！そしたらタイガーマスクなんか捨てちゃったのに！ミスチルライブでも桜井くんはいつも走る。でも今日は特別によく走る。なんだかあたしたち寄りにきてくれるほうが断然多くない？ひいきされてるみたいでうれしい！

さていよいよ浜田さんの登場。TICAさんもドキドキだね。このためだけにきたんだもんね～（ってほんとにそうなの？）

『しょおごおおおお～』

TICAさんの雄叫びを背にステージから姿を消した浜田省吾。浜田さんどうもありがとう。桜井くんをいつまでも見守ってね。あなたの支えがきっと桜井くんに力を与えます。うるうる。



で問題の「HERO」ね。TICAさんが言ったの「桜井泣いてたね」って。あたしは言ったね「えっ声が出なっただけでしょ」って。桜井くんはいつも泣かない。ミスチルライブってのは「泣かせ」のライブなんだけど、ご本人はいつも泣かない。あの病気からの復帰ライブだって泣かなかったじゃーん！

いくらそう思い込んでたって気付かなかったあたしもあたしだけど、二万人の観客の中で最後まで声が出なかったと思ってたのはあたしだけだとしたら、なんだかそれも逆ひいきされてるみたいでうれしいじゃん、と前向きに考える。そういう思考方法は桜井くんから伝授されている。

「HERO」そのものはとても感動的だった。歌えない（泣いてたんだけど）桜井くんにかわってみんなが歌った。みんなの心がたぶん桜井くんを占領された瞬間（もちあたしだって）。こういうエネルギーってどこに行くんだろう？桜井くんの中に入るんじゃないかな。重たすぎる気もするし。記憶として桜井くんの中に留まるだけなのかなあ。

陽がやっと少しつま恋の木々に近づいてくるころ、いよいよ第二部ミスチルライブの始まり。BankBandは言わばミスチル桜井くんのソロ活動。今まではBankBandとミスチルは切り離された関係だったけれど、BankBandの活動が二年たった今日、ミスチルとの接点が生まれた。メンバーも桜井くんの志を後押ししてくれている。



「優しい歌」が一曲目。「愛する喜びに満ち溢れた歌」を歌おうと決意表明するミスチルの転換期ともなった歌だ。この気持ちがかれをApBankの活動に導いていったんだね。「名もなき詩」「未来」と続いていく。選曲は地味と言えば地味でどうやらファンでないTICAさんには少々きつかったみたい。浜省が終わっちゃったから疲れだっってひとしおだよ。 「イノセントワールド」やれや！って言いたかったんじゃない？

「over」「雨のち晴れ」「ランニングハイ」「I'll be(アルバム ver)そして「いつでも微笑を」。

お葬式の描写から始まるこの歌は「悲劇の真ん中じゃ〈いつでも微笑を〉なんて意味をなくしてしまうのかなあ」と問いかける。滅多にミスチルライブでもやらないこの歌。かれが病気で倒れたころの歌。今こうやって聴くとなんだかとてもいい歌だ。「Everything is made from a dream」これもひさしぶりに聴いた。「夢ってあたたかもそれが素晴らしいもののように、あたたかもそれが輝かしいもののように僕らはただ賛美してきたけれど実際のところどうなんだろう？」ミスチルはある一時期、夢なんてなくてもいいから、生かされるままなんとか生きていこうと歌った。今かれらはたぶん夢を持っている。その経緯があるからこそ今持つ



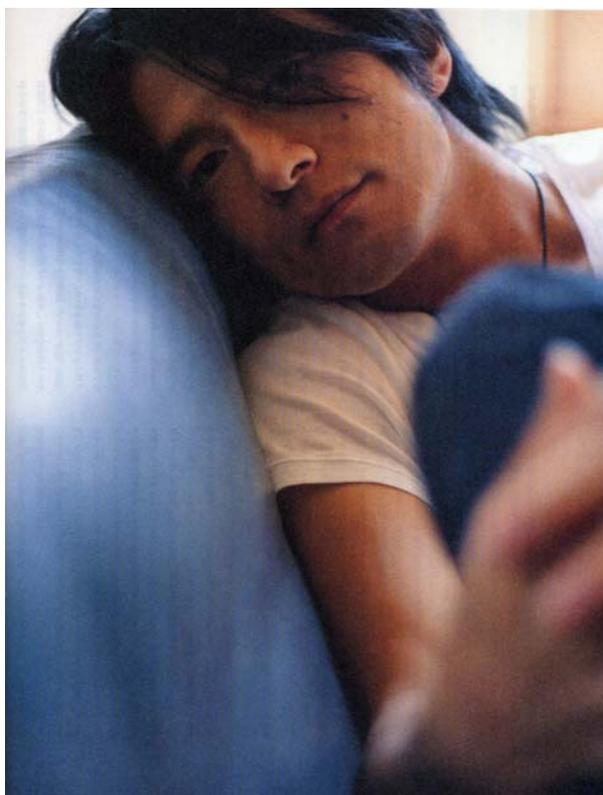
夢はまた格別だろうと思う。そして「and I love you」「overture～蘇生」と続き、締めは「CENTER OF UNIVERSE」「it's a wonderful world」の二曲だった。「あなどらないで僕らにはまだやれることがある 手遅れじゃない まだ間に合うさ」スクリーンには青き地球が映り「この地球は今日も美しい そうだ美しい」と桜井くんはほんの少し歌詞を変えて歌う・・・。

時計は8時に近い。え～～～！もう帰らなきゃダメなの！これからアンコールだよ。

「To U」歌うよ。浜田さんだって出てくるかも。TICAさんの意志は固い。いやいやここで帰るのは最初からのお約束。最終の新幹線に今出なけりゃ間に合わないんだもん。今日の出演者全員での「To U」に見送られながら会場を後に。会場後方からスクリーンで見るステージもなごやかな雰囲気でなかなかいい。明日も来たい！今度はここから見たい！

結局浜田さんはアンコールには登場せず、TICAさんも悔しい思いをせずすんだ。それはそれでよかったね。

帰りの新幹線はぎゅー詰め。ところが日頃いい子のわたしたちは次の駅で座れるという幸運。TICAさんがつつつく。「ねえねえ隣の席の子、桜井に似てるね」まあこれも幸運。



桜井くんて人は誠実だけれども嘘つきであまり浮ついたところがなく冷静で自分をも客観視できるように心がけ目上の人には礼儀正しく交友関係においては昔のことまでいちいち覚えていて執念深く感動を表に出すことを嫌い反省しすぎるくらいの反省マニアで怒りや悲しみは内に溜めなんだか孤独の香りがする。そんなかれが「環境という名のもとに連鎖しながら生きていくことの喜び」を今感じている。そっかあ、あんなふうに桜井くんはステージで泣くのかあと今頃になってしみじみどきどき感じているノータリンのわたし。ダメだあ、ますます好きになってしまったみたい・・・恋まつつま恋、確かにつま恋に恋はあったかも・・・